

(3) 点検済サービス利用計画作成費請求書情報 (E741)

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	
3	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
4	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チ ェックデジット1桁含む)	◎	※C
5	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
6	件数	数値	6	件数を設定する	◎	
7	地域区分コード	コード値	2	地域区分コードを設定する	◎	※C
8	請求金額	数値	10	合計の請求金額を設定する	◎	
9	単位数単価	数値	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字 8.5 円の場合、08500(または 8500) を設定する	◎	※Y
10	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を 設定する	◎	※Y
11	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

点検済サービス利用計画作成費請求書情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)

点検済サービス利用計画作成費請求書情報ファイル

点検済サービス利用計画作成費請求書情報 (基本情報レコード)

市町村単位で1ファイル(※)

※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、
政令市単位で1ファイルとする

(4) 点検済明細書等情報 (E751)

点検済明細書等情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : 基本情報レコード

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報の基本情報レコード
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)の基本情報レコード
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報の基本情報レコード
- ・地域生活支援事業明細書情報の基本情報レコード

2 : 日数情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報の日数情報レコード
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)の日数情報レコード
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報の日数情報レコード

3 : 明細情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報の明細情報レコード
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)の明細情報レコード
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報の明細情報レコード
- ・地域生活支援事業明細書情報の明細情報レコード

4 : 集計情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報の集計情報レコード
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)の集計情報レコード
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報の集計情報レコード
- ・地域生活支援事業明細書情報の集計情報レコード

5 : 契約情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報の契約情報レコード
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報の契約情報レコード

6 : 点検済サービス利用計画作成費請求書明細情報レコード

7 : 点検済サービス提供実績記録票情報基本情報レコード

8 : 点検済サービス提供実績記録票情報明細情報レコード(複数レコード)

9 : 点検済利用者負担上限額管理結果票基本情報レコード

10: 点検済利用者負担上限額管理結果票明細情報レコード(複数レコード)

・各交換情報識別番号とレコード構成、入力識別番号の対応は、以下の通りである。

項番	レコード名称	交換情報識別番号	
		E751	
		障害福祉サービス	地域生活支援事業
1	基本情報レコード	◎:J121、J131、J221	◎:L121
2	日数情報レコード	◎:J121、J131、J221	
3	明細情報レコード	◎:J121、J131、J221	◎:L121
4	集計情報レコード	◎:J121、J131、J221	◎:L121
5	契約情報レコード	○:J121、J221	
6	点検済サービス利用計画作成費請求書 (明細情報)レコード	○:J311	
7	点検済サービス提供実績記録票情報 (基本情報)レコード	◎:J611	
8	点検済サービス提供実績記録票情報 (明細情報)レコード	◎:J611	
9	点検済利用者負担上限額管理結果票 (基本情報)レコード	○:J411	
10	点検済利用者負担上限額管理結果票 (明細情報)レコード	○:J411	

・ 凡例:◎…必須レコード、○…実績内容により必要となるレコード、空白…不要なレコード
また、入力識別番号の内容は以下の通りである。

< 入力識別番号一覧 >

項番	入力識別番号	情報名
1	J121	介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH, CH以外)
2	J131	介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH, CH)
3	J221	特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報
4	J311	サービス利用計画作成費請求書情報
5	J611	サービス提供実績記録票情報
6	J411	利用者負担上限額管理結果票情報
7	L121	地域生活支援事業請求明細書情報

① 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目(※1)				備考
					J121	J131	J221	L121	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報)	◎	◎	◎	◎	
4	給付実績情報作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力					1:新規 2:修正 3:取消
5	給付実績区分コード	コード値	1	給付実績の区分コードを設定する					1:現物 2:償還
6	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する					
7	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月YYYYMMを設定する)	◎	◎	◎	◎	※Y
8	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	◎	◎	※C
9	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	◎	※C
10	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	◎	◎	※C
11	助成自治体番号	コード値	6	助成自治体がある場合、市町村番号を設定する	○	○	○		※C
12	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△	△	△	△	
13	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△	△	△	△	
14	地域区分コード	コード値	2	地域区分コードを設定する	◎	◎	◎		※C
15	就労継続支援A型事業者負担減免措置実施	コード値	1	1:無し 2:有り	◎				
16	利用者負担上限月額①	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	◎	◎	◎		
17	就労継続支援A型減免対象者	コード値	1	1:無し 2:有り	◎				
18	障害程度区分コード	英数	2	月の末日における障害程度区分コードを設定する		○			※C

項番	項目名		属性 (※2)	バイト 数	内容	出力対象項目(※1)				備考	
						J121	J131	J221	L121		
19	上限額管理事業所	指定事業所番号	コード値	10	上限額管理事業所の事業所番号を設定する	○	○	○		※C	
20		管理結果	コード値	1	上限額管理結果票の管理結果を設定する	○	○	○		※3	
21		管理結果額	数値	5	上限額管理結果票の管理結果額を設定する	○	○	○			
22	日中支援加算欄	指定事業所番号	コード値	10	連絡調整を行った日中介護事業所の事業所番号を設定する		○			※C	
23		当該事業所への通所日数	数値	2	日中介護事業所への通所日数を設定する		○				
24	請求額集計欄 合計	給付単位数	数値	9	単位数の合計を設定する	◎	◎	◎	◎		
25		総費用額	数値	10	サービスの総費用額の合計を設定する	◎	◎	◎	◎		
26		上限月額調整(①②の内少ない数)	数値	6	利用者負担上限月額と給付率に基づく利用者負担額のうち少ないほうの合計を設定する	◎	◎	◎			
27		A型減免	事業者減免額	数値	6	A型事業者減免額を設定	○				
28			減免後利用者負担額	数値	6	A型減免後の利用者負担額を設定	○				
29		調整後利用者負担額	数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	○			
30		上限額管理後利用者負担額	数値	6	上限額管理後利用者負担額	○	○	○			
31		決定利用者負担額	数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎	◎	◎		
32		請求額	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	◎	◎	
33			高額障害福祉サービス費	数値	10	高額障害福祉サービス費を設定			○		
34			特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化および、移行時運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	○		
35	自治体助成分請求額		数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○	○			

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目(※1)				備考	
					J121	J131	J221	L121		
36	特定障害者特別給付費(合計)	算定日額	数値	4	算定する日額を設定する	○				
37		日数	数値	2	算定する日数を設定する	○				
38		給付費請求額	数値	5	給付費請求額を設定する	○	○			
39		実費算定額	数値	6	実費算定額を設定する	○	○			
40	受付年月	コード値		6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定	◎	◎	◎	◎	※Y
41	点検結果	コード値		1	点検結果を設定する	◎	◎	◎	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3: “1”: 管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない。

“2”: 利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下のため、調整事務は行わない。

“3”: 利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

② 日数情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目（※1）			備考	
					J121	J131	J221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(日数情報レコード)	◎	◎	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する					
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	※Y	
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	◎	◎	※C	
10	サービス開始日等	開始年月日	コード値	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD)を設定する	◎	◎	◎	※Y
11		終了年月日	コード値	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD)を設定する	○	○	○	※Y
12		利用日数	数値	2	サービス種類毎に利用日数を設定する	◎		◎	
13		入院日数	数値	2	サービス種類毎に入院日数を設定する	○	○		※3
14		外泊日数	数値	2	サービス種類毎に外泊日数を設定する	○	○		※3
15	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	※Y	
16	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	◎	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下	

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:介護給付費等明細書へは、入院又は外泊をした日数の合計を入院日数欄に記載するが、インタフェース上は入院日数、外泊日数を分けて設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

③ 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	03を設定する(明細情報情報レコード)	◎	
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する		
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック デジット1桁含む)	◎	※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
9	サービスコード	コード値	6	サービスコード6桁	◎	※C
10	単位数	数値	6	サービスコードごとの単位数	◎	
11	回数	数値	3	サービスコードごとの回数	◎	
12	サービス単位数	数値	9	サービスコードごとの算定額	◎	
13	摘要	漢字	100	サービスコードごとの摘要	○	※3
14	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y
15	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:介護給付費・訓練等給付費等明細書(様式第三)において、障害程度区分変更の場合に、変更前及び変更後の区分に係るサービスコードを記載した行の摘要欄に「平成〇〇年〇〇月〇〇日まで(から)」を記載する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

④ 集計情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象項目（※1）					備考
					J121	J131	J221	L121		
								定率 負担	定額 負担	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	◎	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	◎	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	04を設定する(集計情報情報レコード)	◎	◎	◎	◎	◎	
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する						
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	◎	◎	◎	※Y
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックジット1桁含む)	◎	◎	◎	◎	◎	※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	◎	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	◎	◎	◎	※C
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	◎	◎	◎	◎	※C
10	集計欄分類番号	コード値	1	同一のサービス種類コードで複数の集計情報を作成する為の集計欄分類番号を設定	◎	◎	◎	◎	◎	※3
11	サービス利用日数	数値	2	サービス利用日数を設定 本体報酬を算定しない日において、各種加算のみを算定した場合も1日とカウントする 上限額管理加算、欠席時対応加算等も1日とカウントする	◎	◎	◎	◎	◎	
12	給付単位数	数値	9	サービス種類コードごと集計欄分類番号ごとの単位数を設定する	◎	◎	◎	◎	◎	
13	単位数単価	数値	5	整数部2桁小数部3桁の半角数字 8.5 円の場合、08500(または8500)を設定する	◎	◎	◎	◎	◎	※Y
14	給付率	数値	3	給付率を設定する	◎	◎	◎	◎		
15	総費用額	数値	10	サービスの総費用額を設定する	◎	◎	◎	◎	◎	
16	給付率に基づく 請求額	請求額	10	総費用額×給付率/100	◎	◎	◎	◎ (※7)	◎ (※7)	
17		利用者負担額②	6	総費用額－給付率に基づく請求額	◎	◎	◎	◎ (※8)	◎ (※8)	
18	上限月額調整(①②の内少ない数)		6	利用者負担上限月額と給付率に基づく利用者負担額のうち少ないほうを設定する	◎	◎	◎			
19	A型減免	事業者減免額	6	A型事業者減免額を設定	○					
20		減免後利用者負担額	6	A型減免後の利用者負担額を設定	○					
21	調整後利用者負担額		6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	○			
22	上限額管理後利用者負担額		6	上限額管理後利用者負担額を設定する	○	○	○			

項番	項目名	属性 (※2)	バイト 数	内容	出力対象項目 (※1)					備考	
					J121	J131	J221	L121			
								定率 負担	定額 負担		
23	決定利用者 負担額	数値	6	算定した結果の利用者負担額を 設定する(自治体助成分請求額 を控除する前の利用者負担額 である)	◎	◎	◎	◎ (※9)	◎ (※9)		
24	請求額	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	◎	◎	◎	
25		高額障害福 祉サービス 費	数値	10	高額障害福祉サービス費の請 求額を設定する			○			
26		特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成 21 年 10 月以降は、事業運営安定化 および、移行時運営安定化に係 る請求額を設定 サービス提供年月が平成 21 年 9 月以前は、特別対策費である 激変緩和加算に係る請求額を 設定	○	○	○			
27		自治体助成分 請求額	数値	6	利用者負担額のうち自治体が助 成する額を設定する	○	○	○			※4
28	特定障 害者特 別給付 費	算定日額	数値	4	サービス種類ごとに算定する日 額を設定する	○					※5
29		日数	数値	2	サービス種類ごとに算定する日 数を設定する	○					※5
30		給付費請求額	数値	5	サービス種類ごとに給付費請求 額を設定する	○	○				※5
31		実費算定額	数値	6	サービス種類ごとに実費算定額 を設定する	○	○				※5
32	利用日 数管理 票	対象期間(開始)	コード値	6	利用日数の特例開始年月(西暦 年月 YYYYMM を設定する)	○		○			※6 ※Y
33		対象期間(終了)	コード値	6	利用日数の特例終了年月(西暦 年月 YYYYMM を設定する)	○		○			※6 ※Y
34		当月の利用日数	数値	2	当月の利用日数	○		○			※6
35		原則日数の総和	数値	3	対象期間における原則日数の 総和を設定する	○		○			※6
36	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	◎	◎	※Y	
37	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	◎	◎	◎	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下	

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:【サービス提供年月が平成21年10月以降の場合】

1 : 2、4および6以外の情報は1を設定する。

2 : 同一サービス種類で単位数単価が異なる場合

例1 : 単位数単価が10円以外の地域に所在する旧身体障害者療護施設において入所を行った場合
で、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算がある場合、遷延性意識障害者
加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算については、集計欄分類番号=2で集計する。

例2 : 単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定特定身体障
害者入所授産施設」における通所サービスおよび、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における

通所サービスを集計する場合、「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝1で集計する。また、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号＝1で集計する。

- 例3：単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定知的障害者入所更生施設」における通所サービスおよび、「旧指定知的障害者通所更生施設」における通所サービスを集計する場合、「旧指定知的障害者入所更生施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝1で集計する。「旧指定知的障害者通所更生施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号＝1で集計する。
- 4：同一サービス種類で給付率が異なる場合（事業運営安定化および、移行時運営安定化に係る請求額）
- 6：2の例2および例3におけるパターンで「旧指定特定身体障害者通所授産施設」および「旧指定知的障害者通所更生施設」における事業運営安定化に係る請求額を集計欄分類番号＝6で集計する（「旧指定特定身体障害者入所授産施設」および「旧指定知的障害者入所更生施設」における事業運営安定化に係る請求額を集計欄分類番号＝4で集計することとなる）。

【サービス提供年月が平成21年4月以降9月以前の場合】

- 1：2、4および6以外の情報は1を設定する。
- 2：同一サービス種類で単位数単価が異なる場合
- 例1：単位数単価が10円以外の地域に所在する旧身体障害者療護施設において入所を行った場合で、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算がある場合、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算については、集計欄分類番号＝2で集計する。
- 例2：単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスおよび、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通所サービスを集計する場合、「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝1で集計する。また、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号＝1で集計する。
- 例3：単位数単価が10円以外の地域に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定知的障害者入所更生施設」における通所サービスおよび、「旧指定知的障害者通所更生施設」における通所サービスを集計する場合、「旧指定知的障害者入所更生施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝1で集計する。「旧指定知的障害者通所更生施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号＝1で集計する。
- 4：同一サービス種類で給付率が異なる場合（特別対策事業の激変緩和加算）
- 6：2の例2および例3におけるパターンで「旧指定特定身体障害者通所授産施設」および「旧指定知的障害者通所更生施設」における特別対策事業の激変緩和加算を集計欄分類番号＝6で集計する（「旧指定特定身体障害者入所授産施設」および「旧指定知的障害者入所更生施設」における特別対策事業の激変緩和加算を集計欄分類番号＝4で集計することとなる）。

【サービス提供年月が平成21年3月以前の場合】

- 1：2、3、4、5および6以外の情報は1を設定する。
- 2：同一サービス種類で単位数単価が異なる場合
- 例1：単位数単価が10円以外に所在する旧身体障害者療護施設において入所を行った場合で、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算がある場合、遷延性意識障害者加算又は筋萎縮性側索硬化症等障害者加算については、集計欄分類番号＝2で集計する。
- 例2：単位数単価が10円以外に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスおよび、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通所サービスを集計する場合、「旧指定特定身体障害者入所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝1で集計する。また、「旧指定特定身体障害者通所授産施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号＝1で集計する。
- 例3：単位数単価が10円以外に所在する事業所において1枚の明細書に「旧指定知的障害者入所更生施設」における通所サービスおよび、「旧指定知的障害者通所更生施設」における通所サービスを集計する場合、「旧指定知的障害者入所更生施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝1で集計する。「旧指定知的障害者通所更生施設」における通所サービスを集計欄分類番号＝2で集計する。1枚の明細書にどちらか片方を集計する場合は、通常通り、集計欄分類番号＝1で集計する。
- 3：同一サービス種類で給付率が異なる場合（介護給付費等の激変緩和加算）
- 4：同一サービス種類で給付率が異なる場合（特別対策事業の激変緩和加算）
- 5：2の例2および例3におけるパターンで「旧指定特定身体障害者通所授産施設」および「旧指定知的障害者通所更生施設」における介護給付費等の激変緩和加算を集計欄分類番号＝5で集計する（「旧指定特定身体障害者入所授産施設」および「旧指定知的障害者入所更生施設」における介護給付費等の激変緩和加算を集計欄分類番号＝3で集計することとなる）。
- 6：2の例2および例3におけるパターンで「旧指定特定身体障害者通所授産施設」および「旧指定知的障害者通所更生施設」における特別対策事業の激変緩和加算を集計欄分類番号＝6で集計する（「旧指定特定身体障害者入所授産施設」および「旧指定知的障害者入所更生施設」における特別対策事業の激変緩和加算を集計欄分類番号＝4で集計することとなる）。

※4: 自治体助成分請求額設定ルール

自治体助成分請求額の計算方法としては、国制度(利用者負担額調整など)を適用した後の決定利用者負担額に対してサービス種類ごとに定率を助成する方式とする。

自治体助成分請求額 = 決定利用者負担額 × 市町村助成率(小数点以下切捨)

例) 生活介護と居宅介護のサービス提供を受ける利用者で、居宅介護の利用者負担額のうち半分を市町村が助成する場合

	生活介護	居宅介護
決定利用者負担額	7,500	4,800
自治体助成分請求額		2,400

4,800(円) × 50(%)



実際の利用者負担額は、7,500 + 4,800 - 2,400 = 9,900 となる。

※5: 集計欄分類番号 = 1 のレコードのみに設定が必要である。

※6: 利用日数管理票情報は、日中活動サービス(生活介護、旧法施設支援(通所)、自立訓練(機能訓練・生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援)において利用日数の特例を利用する場合に、その対象期間中毎月設定する。集計欄分類番号 = 1 のレコードのみに設定が必要である。

※7: 定率負担の場合の請求額 = 総費用額 × 給付率 / 100 (小数点以下切捨)。

定額負担の場合の請求額 = 総費用額 - 給付率に基づく利用者負担額②。

※8: 定率負担の場合の利用者負担額② = 総費用額 - 給付率に基づく請求額。

定額負担の場合の利用者負担額② = サービスコードごとに設定された利用者負担額 × そのサービスコードの回数

※9: 利用者負担の上限調整を行うなどの理由で利用者負担額の調整が必要な場合には決定利用者負担額にて調整を行うこととする。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑤ 契約情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目(※1)		備考
					J121	J221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	05を設定する(契約情報レコード)	◎	◎	
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する			
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	※Y
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック ケジット1桁含む)	◎	◎	※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
9	決定サービスコード	コード値	6	決定サービスコード6桁を設定する	◎	◎	※C
10	契約支給量	数値	5	整数部上3桁、小数部下2桁を設定する 100.5時間→10050 12日→01200(または1200) 5回→00500(または500)	◎	◎	※3
11	契約開始年月日	コード値	8	契約を開始した年月日(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	◎	◎	※4 ※Y
12	契約終了年月日	コード値	8	契約を終了した年月日(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	○	※4 ※Y
13	事業者記入欄番号	数値	2	受給者証の事業者記入欄番号を設定する	◎	◎	※5
14	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	※Y
15	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:契約支給量には、受給者証の事業者記入欄に記載した契約支給量を設定する。また、短期入所においては受給者証の事業者記入欄に記載した当該月における直近の実績日数を設定する。

※4:契約開始年月日、契約終了年月日には、受給者証の事業者記入欄に記載した契約日、サービス提供終了日を設定する。また、短期入所においては、受給者証の事業者記入欄に記載した当該月における直近の実施日を設定する。

※5:受給者証の事業者記入欄に記載した欄番号を設定する。短期入所においては、当該月における直近の欄番号を設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑥ サービス利用計画作成費請求書明細情報レコード

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考
1	交換情報識別番号		英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号		英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード		コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	◎	
4	サービス提供年月		コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
5	市町村番号		コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック デジット1桁含む)	◎	※C
6	事業所番号		コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
7	項番		数値	4	1からの連番を設定する	◎	
8	受給者証番号		英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
9	支給決定者氏名カナ		英数	25	支給決定者カナ氏名	△	
10	支給決定児童氏名カナ		英数	25	支給決定児童カナ氏名	△	
11	モニタリング日		コード値	8	直近のモニタリング日を設定する(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	※Y
12	請求額 計算欄	サービスコード	コード値	6	サービスコードを設定	◎	※C
13		単位数	数値	4	単位数を設定	◎	
14		請求額	数値	6	明細1行ごとの請求額を設定 (小数点以下切捨て)	◎	
15	単位数単価		数値	5	整数部2桁、小数部3桁の半角数字 8.5 円の場合、08500(または 8500)を 設定する	◎	
16	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y
17	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑦ 点検済サービス提供実績記録票情報（基本情報）レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※1	
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)		
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	※Y	
5	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデ ジット1桁含む)	※C	
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	※C	
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C	
8	様式種別番号	コード値	4	様式番号 2 桁、枝番 2 桁を設定	※2	
9	補足給付関係情報	補足給付適用の有無	コード値	1	1:無し 2:有り	
10		補足給付額(円/日)	数値	4	補足給付適用の有無が有りの場合に、一 日単位の補足給付額を設定	
11		食費の単価 朝食 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、朝 食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
12		食費の単価 昼食 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、昼 食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
13		食費の単価 夕食 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、夕 食の単価を設定(契約が毎食毎の場合)	
14		食費の単価 一日 (円/日)	数値	5	補足給付適用の有無が有りの場合に、一 日単位の単価を設定(契約が1日単位の場 合)	
15		光熱水費の単価 一日 (円/日)	数値	6	補足給付適用の有無が有りの場合に、日 単位の光熱水費単価を設定 (契約が一日単位の場 合)	
16		光熱水費の単価 一月 (円/月)	数値	6	補足給付適用の有無が有りの場合に、一 月単位の光熱水費単価を設定 (契約が一月単位の場 合)	
17	合計1(身体介護・行動援護・重度訪問)	内訳 100%	数値	4	1・2 級ヘルパー等による実績時間数を整数 部 3 桁＋小数部 1 桁で設定。例:99. 5→0 995(または 995)	
18		内訳 70%	数値	4	3 級ヘルパー、減算対象ヘルパー等による 実績時間数を整数部 3 桁＋小数部 1 桁で 設定。例:99. 5→0995(または 995)	
19		内訳 重訪	数値	4	重度訪問介護研修修了者による時間数を 整数部 3 桁＋小数部 1 桁で設定。例:99. 5→0995(または 995)	
20		合計 算定時間数計	数値	4	算定時間数の合計を整数部 3 桁＋小数部 1 桁で設定。例:99. 5→0995(または 995)	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
21	合計2(通院介護(伴う)、同行援護(伴う))	内訳 100%	数値	4	1・2級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部1桁で設定。例:99.5→0995(または995)	
22		内訳 70%	数値	4	3級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部1桁で設定。例:99.5→0995(または995)	
23		内訳 重訪	数値	4	重度訪問介護研修了者による時間数を整数部3桁+小数部1桁で設定。例:99.5→0995(または995)	
24		合計 算定時間数計	数値	4	算定時間数の合計を整数部3桁+小数部1桁で設定。例:99.5→0995(または995)	
25	合計3(家事援助)	内訳 100%	数値	4	1・2級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部1桁で設定。例:99.5→0995(または995)	
26		内訳 90%	数値	4	3級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部1桁で設定。例:99.5→0995(または995)	
27		合計 算定時間数計	数値	4	算定時間数の合計を整数部3桁+小数部1桁で設定。例:99.5→0995(または995)	
28	合計4(通院介護(伴う)、同行援護(伴う))	内訳 100%	数値	4	1・2級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部1桁で設定。例:99.5→0995(または995)	
29		内訳 90%	数値	4	3級ヘルパー等による実績時間数を整数部3桁+小数部1桁で設定。例:99.5→0995(または995)	
30		合計 算定時間数計	数値	4	算定時間数の合計を整数部3桁+小数部1桁で設定。例:99.5→0995(または995)	
31	合計5(通院等乗降介助)	内訳 100%	数値	3	1・2級ヘルパー等による実績回数を設定	
32		内訳 90%	数値	3	3級ヘルパー等による実績回数を設定	
33		合計 算定回数計	数値	3	算定回数の合計を設定	
34	提供実績の合計	算定 移動介護分	数値	3	移動介護の時間数を整数部2桁+小数部1桁で設定(例:10.5時間→105)。移動介護の時間数が100時間を超える場合は999を設定(例:100時間→999)。 なお、サービス提供年月が平成21年3月以前の実績記録票は、移動介護の時間数を整数部3桁で設定	
35		実績 送迎加算(回)	数値	2	片道単位の送迎回数を設定	
36		実績 家庭連携加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	家庭連携加算のサービス提供回数を設定	
37		実績 家庭連携加算(回) (算定回数)	数値	2	家庭連携加算の算定回数を設定	
38		合計 算定日数(日)	数値	2	算定日数の合計を設定	
39		夜間支援体制加算(回)	数値	2	共同生活介護において、夜間支援体制加算の回数を設定 共同生活援助において、夜間防災体制加算の回数を設定	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
40	日中支援加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	日中支援加算のサービス提供回数を設定	
41	日中支援加算(回) (算定回数)	数値	2	日中支援加算の算定回数を設定	
42	通所型(回)	数値	2	通所型の回数を設定	
43	訪問型 1時間未満(回)	数値	2	訪問型 1時間未満の回数を設定 ただし、訪問型(視覚)は合計しない	
44	訪問型 1時間以上(回)	数値	2	訪問型 1時間以上の回数を設定 ただし、訪問型(視覚)は合計しない	
45	短期滞在加算(回)	数値	2	短期滞在加算の回数を設定	
46	食事提供加算(回)	数値	2	食事提供加算の提供回数を設定	
47	入院・外泊時加算(回)	数値	2	加算を算定する回数を設定	
48	入院時支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	入院時支援特別加算のサービス提供回数 の合計を設定	
49	入院時支援特別加算(回) (算定回数)	数値	2	入院時支援特別加算の算定回数の合計を 設定	
50	自立生活支援加算(回)	数値	2	自立生活支援加算の回数の合計を設定	
51	自活訓練加算(回)	数値	2	自活訓練加算の回数を設定	
52	訪問支援特別加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	訪問支援特別加算のサービス提供回数 の合計を設定	
53	訪問支援特別加算(回) (算定回数)	数値	2	訪問支援特別加算の算定回数の合計を設 定	
54	施設外支援 当月(日)	数値	2	当月の施設外支援を行った日数を設定	
55	施設外支援 累計 (日/180日)	数値	3	累計の施設外支援の日数を設定	
56	帰宅時支援加算(回) (サービス提供回数)	数値	2	帰宅時支援加算のサービス提供回数の合 計を設定	
57	帰宅時支援加算(回) (算定回数)	数値	2	帰宅時支援加算の算定回数の合計を設定	
58	朝食(回)	数値	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、朝 食の合計回数を設定	
59	昼食(回)	数値	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、昼 食の合計回数を設定	
60	夕食(回)	数値	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、夕 食の合計回数を設定	
61	光熱水費(回)	数値	2	補足給付適用の有無が有りの場合に、光 熱水費を徴収する日数を設定	
62	各小計 食事(円)	数値	7	補足給付適用の有無が有りの場合に、単 価と算定回数から食費の合計を計算し設 定する	
63	各小計 光熱水費(円)	数値	7	補足給付適用の有無が有りの場合に、単 価と算定回数から光熱水費の合計を計算 し設定する1月単位の契約の場合は1月の額 を設定する。	
64	実費合計額(円)	数値	8	補足給付適用の有無が有りの場合に、食 費、高熱水費の小計を合計し設定する	

実費算定の合計

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
65	入所時特別支援加算	利用開始日(年月日)	コード値	8	利用開始日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
66		30日目(年月日)	コード値	8	30日目(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
67		当月算定日数(日)	コード値	2	入所時特別支援加算を算定した日数を設定	
68	退所時特別支援加算	入所中算定日(年月日)	コード値	8	入所中算定日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
69		退所日(年月日)	コード値	8	退所日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
70		退所後算定日(年月日)	コード値	8	退所後算定日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y
71	初期加算	利用開始日(年月日)	コード値	8	利用開始日(YYYYMMDD)を設定	※Y
72		30日目(年月日)	コード値	8	30日目(YYYYMMDD)を設定	※Y
73		当月算定日数(日)	数値	2	日数を設定	
74	地域移行加算	入所中算定日(年月日)	コード値	8	入所中算定日(YYYYMMDD)を設定	※Y
75		退所日(年月日)	コード値	8	退所日(YYYYMMDD)を設定	※Y
76		退所後算定日(年月日)	コード値	8	退所後算定日(YYYYMMDD)を設定	※Y
77	重度包括	実績単位数(単位)	数値	6	当月の実績単位数を設定	
78		実績割合(%)	数値	4	当月の実績割合を整数部 3 桁+小数部 1 桁を設定。例:99.5→0995(または 995)	
79		支給決定量(単位)	数値	6	受給者証の支給決定量を設定	
80		報酬請求額(円)	数値	7	当月の報酬請求額を設定	
81		利用者負担上限月額(円)	数値	6	受給者証の利用者負担上限月額を設定	
82		利用者負担額(円)	数値	6	当月の利用者負担額を設定	
83		共同生活介護合計日数	数値	2	共同生活介護の合計日数を設定	
84		短期入所合計日数	数値	2	短期入所の合計日数を設定	
85		その他サービス合計時間数	数値	4	その他サービスの合計時間数を整数部 3 桁+小数部 1 桁を設定。例:99.5→0995(または 995)	
86		当該月の日数	数値	2	当該月の日数を設定	
87	サービス担当者会議開催日	コード値	8	サービス担当者会議開催日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	※Y	

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考	
88	重度訪問介護 (様式3-2)集計欄	第1時間帯 早朝	数値	3	第1時間帯の早朝時間数を設定	
89		第1時間帯 日中	数値	3	第1時間帯の日中時間数を設定	
90		第1時間帯 夜間	数値	3	第1時間帯の夜間時間数を設定	
91		第1時間帯 深夜	数値	3	第1時間帯の深夜時間数を設定	
92		第2時間帯 早朝	数値	3	第2時間帯の早朝時間数を設定	
93		第2時間帯 日中	数値	3	第2時間帯の日中時間数を設定	
94		第2時間帯 夜間	数値	3	第2時間帯の夜間時間数を設定	
95		第2時間帯 深夜	数値	3	第2時間帯の深夜時間数を設定	
96		第3時間帯 早朝	数値	3	第3時間帯の早朝時間数を設定	
97		第3時間帯 日中	数値	3	第3時間帯の日中時間数を設定	
98		第3時間帯 夜間	数値	3	第3時間帯の夜間時間数を設定	
99		第3時間帯 深夜	数値	3	第3時間帯の深夜時間数を設定	
100		第4時間帯 早朝	数値	3	第4時間帯の早朝時間数を設定	
101		第4時間帯 日中	数値	3	第4時間帯の日中時間数を設定	
102		第4時間帯 夜間	数値	3	第4時間帯の夜間時間数を設定	
103		第4時間帯 深夜	数値	3	第4時間帯の深夜時間数を設定	
104		第5時間帯 早朝	数値	3	第5時間帯の早朝時間数を設定	
105		第5時間帯 日中	数値	3	第5時間帯の日中時間数を設定	
106		第5時間帯 夜間	数値	3	第5時間帯の夜間時間数を設定	
107		第5時間帯 深夜	数値	3	第5時間帯の深夜時間数を設定	
108		第6時間帯 早朝	数値	3	第6時間帯の早朝時間数を設定	
109	第6時間帯 日中	数値	3	第6時間帯の日中時間数を設定		
110	第6時間帯 夜間	数値	3	第6時間帯の夜間時間数を設定		
111	第6時間帯 深夜	数値	3	第6時間帯の深夜時間数を設定		
112	施設種類	コード値	2	設定しない		
113	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	※Y	
114	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	1:正常 2:警告 3:エラー	

※1:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※2:様式番号については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票情報 (4)様式と様式種別番号の対応」を参照。また、様式番号に対応する出力対象項目については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票情報 (5)入力必須項目と様式の対応表(基本情報レコード)」を参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑧ 点検済サービス提供実績記録票情報（明細情報）レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	※1
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	※Y
5	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	※C
6	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	※C
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	※C
8	様式種別番号	コード値	4	様式番号 2 桁、枝番 2 桁を設定 様式3-1の場合、0301 を設定	※2
9	提供通番	数値	3	居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護において、複数の明細情報レコード(サービス提供時間)が一連のサービス提供であることを識別するための番号	※3
10	日付	コード値	2	日を設定(短期入所の場合、サービス提供を行った全ての日を設定する)	
11	サービス提供回数	数値	2	日付の中でサービスを提供した順を設定	※4
12	サービス内容	コード値	6	居宅介護、同行援護および、重度包括のサービス種別を判定する為に、決定コード 6 桁を設定	
13	ヘルパー資格	コード値	2	資格要件対象のサービスのみ設定 居宅介護(11:1・2級等 12:3級等 13:重訪) 同行援護(11:1・2級等 12:3級等) 行動援護(21:1・2級等 22:減算)	※7
14	運転フラグ	コード値	1	運転を表す場合、1を設定	
15	開始時間	数値	4	開始時間を数字 4 桁で設定 例)10:00→1000	
16	終了時間	数値	4	終了時間を数字 4 桁で設定 例)11:00→1100	
17	算定時間数	数値	3	算定時間数を設定(整数部 2 桁+小数部 1 桁を設定、例:10.5→105)	
18	乗降(回数)	数値	2	乗降介助の回数を設定	
19	移動	数値	2	重度訪問介護の移動に係る算定時間数を整数部 1 桁+小数部 1 桁で設定(例:3時間→30)。 なお、サービス提供年月が平成 21 年 3 月以前の実績記録票は、実際の移動時間数を整数部 2 桁で設定(例:3時間→03)。	
20	派遣人数	数値	1	通常は '1' を設定 同一時間に 2 人ヘルパーでサービス提供を行った場合 '2' を設定	
21	前月からの継続サービス	コード値	1	居宅介護、同行援護において、前月から継続したサービス提供を行った場合、1を設定する	
22	送迎加算 往	数値	1	デイサービスの送迎(往路)を行った回数を設定	
23	送迎加算 復	数値	1	デイサービスの送迎(復路)を行った回数を設定	
24	家庭連携加算 (サービス提供時間数)	数値	4	実際に支援に要した時間数を設定(整数部 2 桁+小数部 2 桁を設定、例:1.5時間→0150(または 150))	
25	家庭連携加算 (算定時間数)	数値	2	算定する時間数を設定	
26	自活訓練加算	コード値	1	加算を算定する場合 1 を設定	

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
27	短期滞在加算		コード値	1	加算を算定する場合1を設定	
28	訪問支援特別加算 (サービス提供時間数)		数値	4	実際にサービス提供した時間数を設定(整数部2桁 +小数部2桁を設定、例:1.5時間→0150(または 150))	
29	訪問支援特別加算 (算定時間数)		数値	2	算定する時間数を設定	
30	施設外支援		コード値	1	施設外支援を行った場合1を設定	
31	退所時特別支援加算		コード値	1	退所時特別支援加算を行った場合、1を設定	
32	地域移行加算		コード値	1	地域移行加算を行った場合、1を設定	
33	食事提供加算		コード値	1	加算対象となる低所得者に対して食事を提供した場合1 を設定	
34	入院・外泊時加算		コード値	1	加算を算定する場合1を設定	
35	提供形態		コード値	1	1:通所型 2:訪問型 3:訪問型(視覚)	
36	備考		漢字	100	備考欄に記載が必要な場合、設定	※5
37	サービス提供の状況		コード値	1	1:宿泊型自立訓練 2:入院 3:外泊 4:入院→外泊 5:外泊→入院 6:入院→共同生活住居に戻る→外泊 7:外泊→共同生活住居に戻る→入院 8:欠席(欠席時対応加算)	
38	夜間支援体制加算		コード値	1	共同生活介護において、夜間支援体制加算を算定 する場合1を設定 共同生活援助において、夜間防災体制加算を算定 する場合1を設定	
39	入院時支援特別加算 (サービス提供回数)		コード値	1	入院時支援特別加算の算定要件を満たす支援を 行った場合1を設定(報酬上算定できる回数にかか わらず、要件を満たす場合は設定する)	
40	入院時支援特別加算 (算定回数)		コード値	1	入院時支援特別加算の報酬上算定できる回数を設 定する	
41	帰宅時支援加算 (サービス提供回数)		コード値	1	帰宅時支援加算の算定要件を満たす支援を行った 場合1を設定(報酬上算定できる回数にかかわら ず、要件を満たす場合は設定する)	
42	帰宅時支援加算 (算定回数)		コード値	1	帰宅時支援加算の報酬上算定できる回数を設定す る	
43	自立生活支援加算		コード値	1	自立生活支援加算を算定する場合、1を設定する	
44	日中支援加算 (サービス提供回数)		コード値	1	日中支援加算の算定要件を満たす支援を行った場 合1を設定。報酬上算定できる回数にかかわらず、 要件を満たす場合は設定する。	
45	日中支援加算 (算定回数)		コード値	1	日中支援加算の報酬上算定できる回数を設定する	
46	算定日数		コード値	1	短期入所において、算定対象日に1を設定 施設入所支援において、土日等日中支援加算の算 定日に1を設定	
47	自立訓練 訪問型時間数		数値	4	訪問型自立訓練を提供した場合、(提供形態が2: 訪問型もしくは、3:訪問型(視覚)の場合)その時間 数を整数部2桁小数部2桁で設定する(様式には本 項目は無いがインタフェースには設定する)	
48	実 費 算 定	朝食	コード値	1	補足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従っ て朝食を提供した場合1を設定	※6
49		昼食	コード値	1	補足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従っ て昼食を提供した場合1を設定	※6
50		夕食	コード値	1	補足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従っ て夕食を提供した場合1を設定	※6

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
51	光熱水費	コード値	1	補足給付適用の有無が有りの場合で、利用契約に従って、光熱水費を徴集する日に1を設定	
52	適用単価	数値	3	適用単価を設定	
53	基本単位数	数値	4	基本単位数を設定	
54	加算	コード値	1	1:早朝 3:夜間 4:深夜 を設定	
55	加算後単位数	数値	4	加算後単位数を設定	
56	単位数	数値	4	単位数を設定	
57	1日計	数値	5	1日計を設定 同一日に複数サービスを提供する場合には、最終行に設定する。最終行とは「サービス開始時間」の昇順に並び替えた場合の最終行である。ただし、サービス提供時間を設定しない入所系サービス(短期入所、共同生活介護)の提供があった場合には、入所系サービスが最終行となる。	
58	1時間(13時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
59	2時間(14時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
60	3時間(15時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
61	4時間(16時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
62	5時間(17時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
63	6時間(18時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
64	7時間(19時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
65	8時間(20時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
66	9時間(21時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
67	10時間(22時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
68	11時間(23時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
69	12時間(24時間)	コード値	1	1:早朝 2:日中 3:夜間 4:深夜	
70	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	※Y
71	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	1:正常 2:警告 3:エラー

※1:「インタフェース仕様書 市町村編 1. 障害福祉サービス 2.3.1(4) 入力識別番号一覧」参照。

※2:様式番号については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票情報 (4) 様式と様式種別番号の対応」を参照。また、様式番号に対する出力対象項目については「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.6 サービス提供実績記録票情報 (6)入力必須項目と様式の対応表(明細情報レコード)」を参照。

※3:居宅介護、重度訪問介護、同行援護、行動援護において、サービス提供年月内でサービス提供の順に1から通番を採番する。ただし、居宅介護、同行援護においては一連のサービス提供を行った場合(サービス間隔が2時間未満の場合)、一連のサービス提供について同一番号を設定する。また、1日の所要時間を通算して算定する重度訪問介護においては、同一日のサービス提供に対して、同一番号を設定することとなる。さらに、行動援護については1回の外出にかかるサービスについては通算して算定するため1回のサービスに対して同一番号を設定する。2人派遣により行が分かれる場合は、提供通番は別番号を設定する。

※4:二人派遣で時間がずれた場合、二人派遣で1人目と2人目の従業者要件が異なる場合、ヘルパー1人目の行に「1」、ヘルパー2人目の行に「2」を設定する。ただし、重度訪問介護(様式3-2)においては、12時間目までの行に「1」、13時間目以降の行に「2」を設定する。また、重度訪問介護(様式3-2)において、二人派遣により行が分かれる場合にはヘルパー単位の「1」、「2」を設定する。

※5:居宅介護、同行援護における「運転時間」、行動援護における「減算」、施設入所支援、宿泊型自立訓練における「地域移行加算」、旧法(入所/通所/通勤寮)における「退所時特別支援加算」、旧法(通所)/就労継続/就労移行における「施設外支援」に関しては設定項目を設けている為、備考欄への設定は必要ない。

※6:1日単位の契約の場合は、朝食、昼食、夕食の全てに1を設定。

※7:同行援護において、3級ヘルパー等であっても減算対象とならない者が同行援護を行った場合については、「11:1・2級等」を設定する。

- ※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。
- ※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。
- ※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。
- ※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑨ 点検済利用者負担上限額管理結果票基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎		
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y	
5	上限額管理結果票 情報作成区分コード	コード値	1	上限額管理票の作成区分を設定する 1:新規 2:修正 3:取消	◎	※3	
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックシート1 桁含む)	◎	※C	
7	上限額管理事業所番号	コード値	10	上限額管理を行った事業所の事業所番号を設定 する	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C	
9	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△		
10	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△		
11	利用者負担上限月額	数値	5	利用者負担上限月額を設定する	◎		
12	利用者負担上限額 管理結果	コード値	1	上限額管理結果を設定する	◎	※4	
13	合計	総費用額	数値	10	サービスの総費用額	◎	※5
14		利用者負担額	数値	6	利用者負担額	◎	※5
15		管理結果後 利用者負担額	数値	6	管理結果後利用者負担額	◎	※5
16	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
17	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー	

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:上限額管理票情報の作成区分を設定する。当該サービス提供年月の中で初めて送付する場合および、
返戻となった上限額管理結果票を再提出する場合「新規」を設定する。一度決定した上限額管理結果
票の内容に変更が発生し、再度送付する場合は、「修正」を設定する。同様に一度決定した情報自体を
取り消す場合は「取消」を設定する。設定の詳細は「インタフェース仕様書 サービス事業所編 1.2.3.4
サービス提供実績記録票情報 (4)利用者負担上限額管理結果票情報レコード作成方法」参照。

※4: “1” : 管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない。

“2” : 利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下のため、調整事務は行わない。

“3” : 利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※5:事務処理上は管理結果により設定する必要が無い場合もあるが、インタフェース上は必須とし、計算結
果を常に設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑩ 利用者負担上限額管理結果票明細情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	出力対象 項目 (※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(明細情報レコード)	◎		
4	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y	
5	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チエツ クレジット1桁含む)	◎	※C	
6	上限額管理事業所番号	コード値	10	上限額管理を行った事業所の事業所番 号を設定する	◎	※C	
7	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番 号	◎	※C	
8	項番	数値	2	1から通番を設定する	◎		
9	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C	
10	集計・調整欄 利用者負担額	総費用額	数値	10	サービスの総費用額	◎	※3 ※4
11		利用者負担額	数値	6	利用者負担額	◎	※3 ※4
12		管理結果後 利用者負担額	数値	6	管理結果後利用者負担額	◎	※3
13	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設 定する	◎	※Y	
14	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	◎	1:正常 2:警告 3:エラー	

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.3.1(4)入力識別番号一覧」参照。

※3:事務処理上は管理結果により設定する必要が無い場合もあるが、インタフェース上は必須とし、計算結果を常に設定する。

※4:サービス提供年月が平成21年10月以降の上限額管理結果票において、利用者負担上限額管理結果が“1”となった場合、関係事業所における総費用額および利用者負担額の設定は省略可能とし、省略する場合には“0”を設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

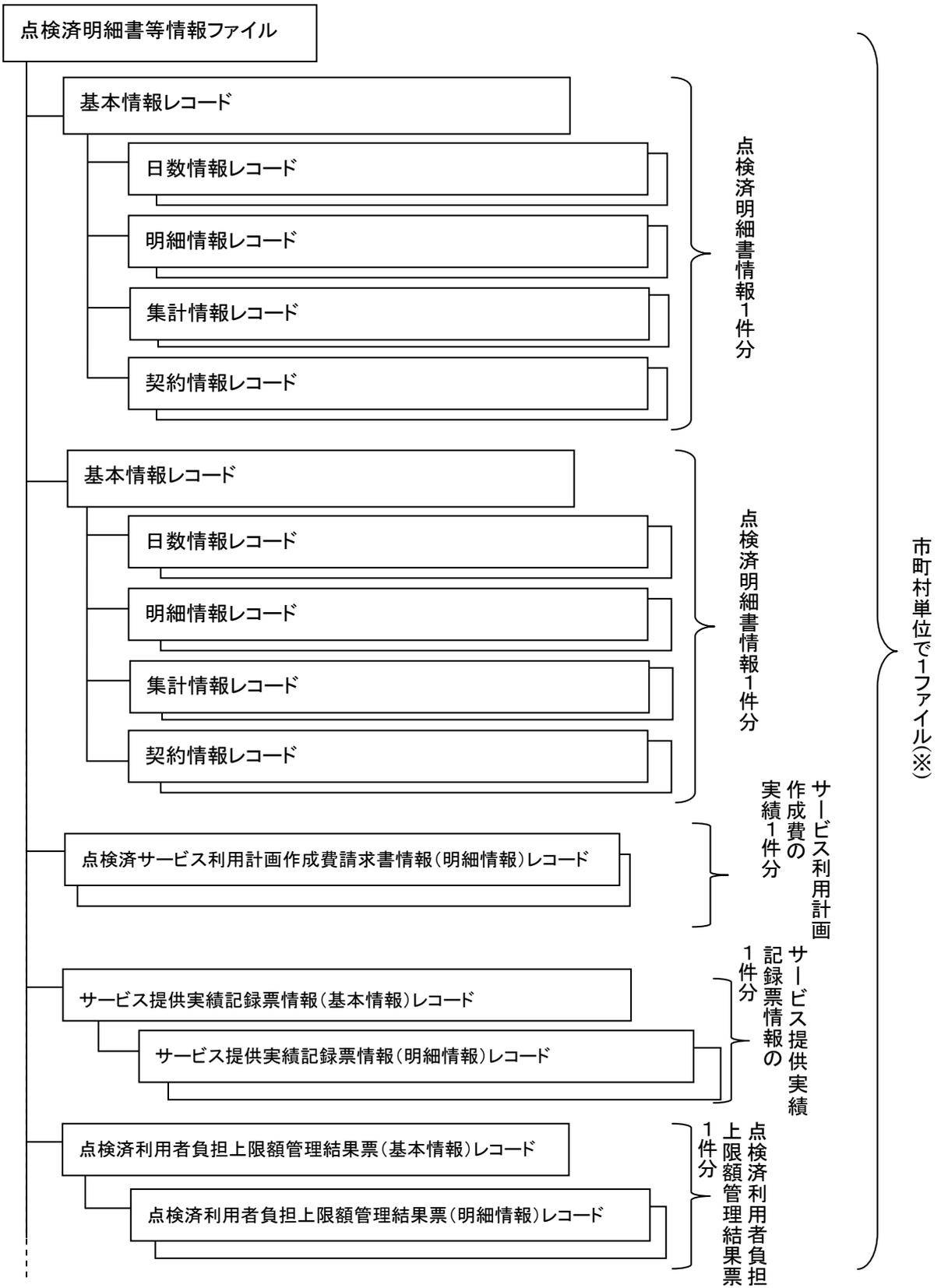
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

点検済明細書等情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

(5) 事務点検結果票 (E7A1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(6) エラー一覧表 (E7B1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(7) 警告一覧表 (E7C1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(8) 支給量オーバーチェックリスト (E7D1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(9) 請求時効該当確認リスト (E7E1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(10) 時効却下リスト (E7F1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

2. 3. 2 市町村審査結果資料情報

(1) 審査結果票情報 (E811)

国保連合会の点検結果通りの場合は、審査結果票情報を国保連合会に提出する。また、その場合は、審査結果一覧情報を提出する必要はない。

<作成方法>

「事務点検結果票情報(基本情報レコード)」の交換情報識別番号を変更し、市町村審査年月日を設定して「審査結果票情報」を作成する。

<作成例(障害福祉サービス)>

・事務点検結果票情報

交換情報識別番号	レコード種別コード	市町村番号	市町村名	受付年月	点検件数	市町村審査年月日
E711	01	111111	〇〇市	200804	100	-(未設定)



・審査結果票情報

交換情報識別番号	レコード種別コード	市町村番号	市町村名	受付年月	点検件数	市町村審査年月日
E811(変更)	01	111111	〇〇市	200804	100	20080423(設定)

① 基本情報レコード

項番	項目名	属性(※2)	バイト数	内容	必須入力(※1)	備考	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B	
2	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報)	◎		
3	市町村番号	コード値	6	市町村番号を設定する	◎	※C	
4	市町村名	漢字	40	市町村名を設定する	◎		
5	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月YYYYMM)を設定する	◎	※Y	
6	計	点検件数	数値	12	点検件数を設定する	◎	
7		正常件数	数値	12	件数を設定する	◎	
8		警告件数	数値	12	件数を設定する	◎	
9		エラー件数	数値	12	件数を設定する	◎	
10		請求額	給付費	数値	12	給付費を設定する	◎
11	特別対策費		数値	12	特別対策費を設定する	○	
12	自治体助成分請求額		数値	12	自治体助成分請求額を設定する	○	
13	高額障害福祉サービス費		数値	12	高額障害福祉サービス費を設定する	○	
14	市町村審査年月日	コード値	8	市町村審査年月日(西暦年月日YYYYMMDD)を設定	◎	※Y	

※1: 必須入力 ◎: 必須項目、○: 請求内容により必要、△: 任意設定、空白: 不要

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 I. 障害福祉サービス 2.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

